

舟石川三区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2017年11月24日 舟石川三区の11名の方に参加していただき、
住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力研究開発機構 J-PARC センターの施設を見学し、研究に関する
活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業者・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実および原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

舟石川三区の皆さんは、J-PARC センターの2つの実験施設を見学されました。懇談会では、原子力に関係する仕事をしておられた参加者の方や、今回初めて見学されたという方もいらっしゃって、様々なご意見が出され、活発な意見交換が行われました。



<舟石川三区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成29年11月24日(金) 9時10分～12時20分

見学会 9時10分～11時10分

J-PARC センター 研究棟会議室で概要説明

現場見学

物質・生命科学実験施設 (MLF)

ニュートリノ実験施設

懇談会 11時10分～12時20分

J-PARC センター 研究棟会議室

J-PARC センターの2つの研究施設を見学しました



石井副センター長より説明を受ける

ニュートリノの研究、電気自動車やタイヤの改良に関する研究など、幅広い研究が行われています。



物質・生命科学実験施設

どのように実験が行われているか、パネルや模型を用いた説明を受けました。



物質・生命科学実験施設内

広いスペースに様々な実験装置が設置。



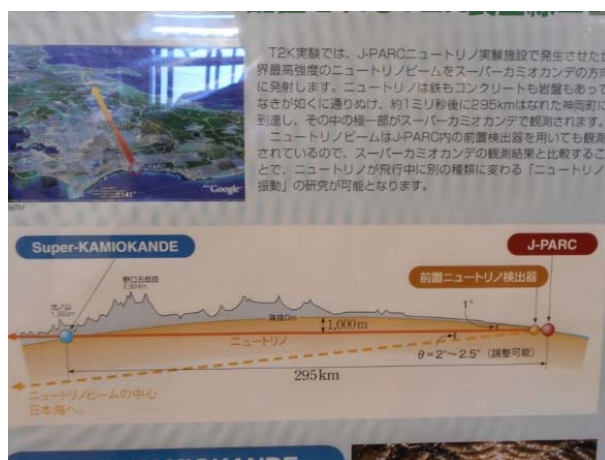
見学の様子

皆さん真剣に見学されています。



ニュートリノ実験施設 検出器

約 33 メートルの深さに検出器が置かれています。



ニュートリノ実験の説明パネル

東海村からカミオカンデに向かって、ニュートリノが飛んでいます。